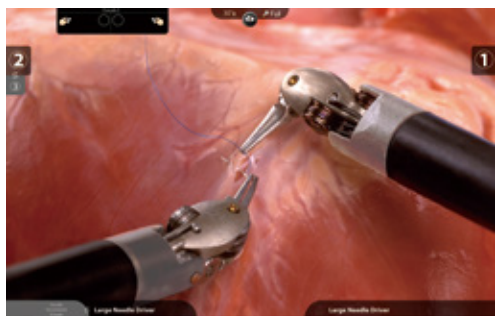


地域医療連携だより

2017年5月

■泌尿器科からのご案内

da Vinci(ダヴィンチ)導入。ロボット支援手術を開始します。



da Vinci とは？

ダヴィンチは最先端の手術支援ロボット。世界中で利用されている腹腔鏡手術を支援する安全性の高い内視鏡下手術支援ロボットです。

医師がアームに取り付けられた鉗子やメスを操作するサージョンコンソールに座り、映し出される立体的な3次元高解像度画像を見ながら、手元のレバーを動かすことで人間の手より大きな可動域で動き、手ぶれ補正機能を備えた鉗子やメスを操作して手術を行います。ダヴィンチを利用したロボット手術は、前立腺がん・腎臓がん（保険適用）、胃がん、大腸がん、食道がんなどが主な手術ですが、当院泌尿器科では前立腺がん・腎臓の部分切除の手術を行います。

患者さまへのメリット

1. 体への負担が少ない

数カ所の小さな切開部から手術を行うため、傷が小さく、出血も抑えられ、手術後の回復が早く、患者さまの負担が軽減されます。

2. 鮮明な3D(3次元)画像

コンソールモニターには高解像度で立体的な3Dハイビジョンの手術画像が映し出されます。臓器を立体画像で視認できることにより、円滑な手術操作が行えます。

3. 精密な動きを再現

医師がロボットアームに装着されている鉗子やメスを操作します。ダヴィンチの鉗子はリスト構造を持ち、人間の手により大きな可動域と手ぶれ補正機能を備えています。内視鏡下手術では、困難な部位の縫合や剥離操作も容易に行うことができ、細かい血管や神経を傷つける可能性を抑えます。

埼玉県北エリアでは、初の導入となります！

行田市、鴻巣市、熊谷市、深谷市、東松山市、加須市、本庄市、羽生市、久喜市、比企郡、秩父郡、児玉郡、大里郡を含む埼玉県北エリアでは当院が初の導入となります。

地域の先生方におかれましては、当院各診療科へのご紹介を賜り、誠にありがとうございます。当院はこれからも埼玉県北部の中核病院として、高いレベルの医療を提供できるように努力して参りたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

地域医療連携室 直通 TEL.048-564-2537
直通 FAX.048-564-2538

地域医療連携だより

2017年5月

■泌尿器科医師からのご案内

ダヴィンチの導入にともなって、当院・埼玉県北エリアにおける泌尿器科の今後について泌尿器科部長・林医師と日本ロボット外科学会 Da Vinci Certificate を持つ澤田医師に語っていただきました。

地域完結型医療体制へ向けて

副院長 / 泌尿器科部長 林 暁

平成 27 年 9 月より当院泌尿器科に就任し 1 年半が経ちました。最先端の内視鏡システムを導入し尿路結石や前立腺肥大症に対する内視鏡治療を積極的に取り入れ、良好な手術成績が得られています。

紹介患者数の増加に伴い平成 28 年 4 月から腹腔鏡認定医およびダヴィンチ手術（ロボット支援システム）認定の資格を有する医師 2 名が新たに常勤医師として加わり、常勤医師 4 名・非常勤医師 4 名で外来および手術、病棟業務を行っています。腎癌、腎盂尿管癌や腎盂形成などは鏡視下手術を導入し極めて良好な結果を得ています。近隣からの紹介患者数も増加し、尿管鏡下結石治療数も平成 28 年度は 200 件を超えるまでに至り、全国でも有数の治療施設の仲間入りができたものと考えます。また、昨年は前立腺生検数も増加し、前立腺癌診断数が著増。前立腺癌手術数も大幅に増えました。前立腺癌検診が早期発見につながることから啓蒙活動を目的として講演会を開催したことも紹介患者数増加につながったと思われます。今後も増加が予想される前立腺癌症例の受皿として十分に機能できるようにさらなる充実を図ります。

医学界として「体にやさしい医療」への移行が求められていますが、当院もさらに進んだ「低侵襲治療」の導入を検討しています。当院は埼玉県北部医療圏で中核を担う病院としての期待も大きいものと思われます。期待に応えるために今後は「地域完結型医療体制作り」を目標として救急医療、癌治療のさらなる充実 に努めてまいります。



ダヴィンチ導入にあたって 泌尿器科・ロボット手術認定医 澤田陽平

私が初期研修終了後、進路に迷っていた際に先進的にロボット支援手術を行っていたのが東京医科大学病院でした。ダヴィンチ手術の圧倒的な質の違いを実感し入局を決意しましたが、当時は保険診療も認められておらず全く主流とは言えない状況でした。同期は一人もいませんでしたが、その分だけダヴィンチ手術に携われる機会を数多くいただき、様々な経験を積むことができました。

その中で実感した利点を一言で表すならば「患者さまの負担軽減」です。特に前立腺癌手術の場合は、術中の出血量がほとんどなく傷も小さいという利点の他に、手術の後遺症である尿失禁からの回復の速さといった機能性の面にも利点があります。ダヴィンチの特徴である人間の手では不可能な関節運動、また 1cm にも満たない極小鉗子を用いることで尿禁制に関わる筋群にほとんど損傷を与えず、かつ癌をしっかり取ることができる、癌制御と機能温存のどちらも高いクオリティーで行える、これこそがロボット支援手術の魅力です。

もちろん前立腺癌治療には手術治療以外にも様々な治療法があります。癌の状況（悪性度・進展度）、患者さまの気持ち・意向を一番大切にして治療に取り組んでいきたいと思えます。

地域医療連携室 直通 TEL.048-564-2537
直通 FAX.048-564-2538